

1 地域の連携による「サービス」と「支え合い」の展開			
1-1 地域の連携で、暮らしの安心を支える	取組	方向性	例示
① 高齢者等の日常の暮らしを見守る		高齢者をはじめとする多様な人々が安心していきいきと暮らせるまちとし、それらの人の活発な生活・活動を地域の元気の源とします。それにより、若い世代や新たな居住者等がこのまちに住み続けられるイメージを持ち、定住しなくなる魅力が感じられるまちとします。	H30年度実績（ ◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策 ） ■U R金剛団地において生活支援アドバイザーによる日常相談、安心コールやイベント等実施。【UR都市機構】 ○認知症サポーター養成講座の開催。(金剛地区では高辺台・久野喜台にある事業所(各1回)、伏山台小(2回)を対象に開催し、計88人のサポーターを養成)【高齢介護課】 ○地域包括支援センターの運営。窓口・訪問相談、金剛団地地域ケア会議、金剛地区まちづくり会議等へ参加等。【高齢介護課】 ○生活支援コーディネーターの配置。(金剛地区は第3圏域として1人)【高齢介護課】 ○市生活支援等サービス体制協議体の開催。各圏域の生活支援コーディネーターが参加。【高齢介護課】 ○65歳以上の一人暮らしの人等への配食サービス事業の実施。(金剛地区の利用登録者は、高辺台(83人)、久野喜台(46人)、寺池台(115人)、配食ボランティアは高辺台(7人)、久野喜台(7人)、寺池台(8人))【高齢介護課】 ○大活字本やCD等、高齢者の利用の多い資料を収集。また、快適な環境を整えるため、照明の一部をLED電球に変更したり、老眼鏡等を買い替えたりした。【金剛図書館】 ○ふれあい収集の実施。ゴミの持ち出しが困難な家庭に、玄関まで回収に向う。(対象者は市全体426名、うち金剛地区86名)【衛生課】 ○民生委員・児童委員の配置。(小学校区ごとに、高辺台8人、久野喜台10人、寺池台9人、伏山台9人)【地域福祉課】 ○コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置。(市内3圏域に各2人設置。金剛地区は第3圏域)【地域福祉課】
			既存サービスでは対応できない課題の把握や、関係団体間で情報共有・連携したきめ細やかな取り組み
			子どもの安全を守るため、PTAや町会(自治会)等と学校が連携した登下校の見守りやパトロール等
② 地域で子どもや子育て世帯を支える		子育てを終えたベテラン揃いの地域力をいかして、「地域で子どもや子育て世帯を支える」ことを共通認識として、まちの「次世代育成」に取り組みます。働きながらも安心して子育てができるよう、地域とのつながりの中で、きめ細やかな支援体制を整え、子育て世帯が住みたくなるまちを目指します。	■NPOふらっとスペース金剛による子育て支援事業。【NPOふらっとスペース金剛】 ■UR金剛団地内に家庭的保育事業所「Kotona」を開設。【NPOふらっとスペース金剛、UR都市機構】 ■Kotonaにて園庭開放をする「ENGAWA」を運営。(毎週土曜日9:30～11:00)【NPOふらっとスペース金剛】 ○子育て環境の充実、魅力ある学校教育の推進に向けて、地域に住む豊かな人材の経験、知識、技術などを子どもたちに伝える環境づくりを進める。(金剛地区内の小・中学校においても実施)【教育指導室】 ○教育環境の質的な向上(主にトイレ環境)を図るための整備を実施。(金剛地区では寺池台小学校でトイレの様式化工事を実施)【教育総務課】 ○おはなし会(22回101人)、じゅうたんコーナーのよみかせ(25回139人)、あかちゃんのおはなし会(45回125組)や図書館の職業体験(春・夏休み中に各1回。参加者のべ12人)など、各種子ども向けイベントを開催。また、子育て中の方などを対象に出前講座「子どもと絵本を楽しもう」(13回大人のべ155人、子どものべ156人)を開催。【金剛図書館】 ○病児保育事業を実施。保護者による保育が困難である病気中の子どもを預かる事業。(H28.9～富田病院院に院内保育所に併設、利用者数57人、うち金剛地区2人)【こども未来室】 ○育児ヘルパーの派遣。産前産後に家事や育児を援助してくれるヘルパーを派遣する。(申請件数83件、うち金剛地区15件)【こども未来室】 ○認可保育施設の開設等。(家庭的保育事業所「Kotona」の開設(寺池台一丁目)、「宙保育園」の開設準備(高辺台二丁目)【こども未来室】 ○認可保育施設の増築事業者の募集。(とちっち保育園(高辺台二丁目)の定員を40人から66人に拡充予定。R元年度増築、R2年度拡充)【こども未来室】 ○地域子育て支援センター事業の実施。園庭開放や子育て相談指導等を通じて育児支援を行う。(市内2か所、利用児童数2910人、うち金剛地区に設置なし)【こども未来室】 ○つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。(市内7か所、利用児童数15453人、うち金剛地区1か所(ほっとひろば ふらっと)、利用児童数4806人)【こども未来室】 ○ファミリー・サポート・センター事業の実施。子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が、お互いに助け合う子育てネットワーク。(会員数279人、活動件数635件、うち金剛地区会員数57人)【こども未来室】 ○子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。(児童訪問世帯数17995件(市全体)、妊婦訪問世帯数2758件(市全体)、園庭開放参加児童数3376人(市全体)、金剛保育園園庭開放参加児童数887人)【こども未来室】 ○放課後こども教室を実施。(市内16小学校で286回実施、参加者は子ども10302人、ボランティア1859人)(金剛地区では、高辺台小学校11回子ども366人ボランティア65人、久野喜台小学校17回子ども764人ボランティア132人、寺池台小学校18回子ども1188人ボランティア123人、伏山台小学校14回子ども412人ボランティア88人)【生涯学習課】 ○民生委員・児童委員の配置。(小学校区ごとに、高辺台8人、久野喜台10人、寺池台9人、伏山台9人)【地域福祉課】
			子どもの安全を守るため、PTAや町会(自治会)等と学校が連携した登下校の見守りやパトロール等
③ 地域一体となった防災・防犯活動を強化する		金剛地区全体で防災・防犯に取り組むとともに、各町会(自治会)等、小・中学校区等、身近な単位でのきめ細やかな活動強化を図ります。	◎地区内で防災に関するゆるやかなつながりがづくりを目的とした防災つながりミーティングを開催。(H30.9.29、参加者23名)【金剛地区まちづくり会議】 ■地区内の小学校で防災訓練を実施。(H30.10.14高辺台小学校、H30.11.18伏山台小学校、H31.2.23寺池台小学校)【各小学校区福祉委員会等】 ■久野喜台二丁目において自主防災組織が発足。(H30.12)【久野喜台2丁目自主防災会】 ※高辺台一丁目、高辺台二丁目、高辺台三丁目、寺池台三丁目、久野喜台一丁目、久野喜台二丁目、ファミール金剛ヒルズソシエテに自主防災組織あり(7/17団体) ■金剛中学校区すこやかネットの防災部会が活動中。【金剛中学校区すこやかネット】 ○まちづくりサポーター育成講座(第2回 防災力の高い金剛地区を目指して)を開催。(H30.10.28、金剛連絡所、参加者19人)【まちづくり推進課】 ○学校施設の耐震化工事。(金剛地区では伏山台小学校で実施)【教育総務課】 ○寺池台小学校で実施された防災訓練(H31.2.23)において、給水車による給水訓練を実施。(給水袋130袋、災害用備蓄水144本を配付)【上下水道総務課】 ○防犯灯設置補助金事業の実施。(H31年3月末時点で市全体10922灯、うち金剛地区1588灯分の補助金を交付。現在、238団体(市全体)が維持管理)【市民協働課】 ○防犯カメラ設置補助金事業の実施。(H31年3月末時点で市全体127基、うち金剛地区23基分の補助金を交付。現在37団体(市全体)が維持管理。H30年度は久野喜台二丁目で3基分の補助金を交付)【市民協働課】 ○地域防災訓練実施への支援。(H30.11.28伏山台小学校区125人参加、H31.2.23寺池台小学校区168人参加)【危機管理室】 ○地域防災マップ作成支援。(久野喜台二丁目自治会、220世帯分)【危機管理室】 ○防災に関する出前講座の実施。(H30.9.29、金剛地区防災ミーティング内で講座実施、金剛連絡所にて参加者23名)【危機管理室】 ○市設置型防犯カメラの維持管理。(市全体115機、うち高辺台6機、久野喜台3機、寺池台9機)【総務課】 ○青色防犯パトロール活動を実施。(市全体931回、うち高辺台74回、久野喜台74回、寺池台74回の巡回を実施)【総務課】 ○道路施設(橋梁・トンネルなど)の老朽化対策の実施。(金剛地区では実績なし)【道路交通課】 ○交通安全教室の開催。(金剛地区では、高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台小学校、金剛・葛城中学校、寺池台地区福祉委員会で開催)【道路交通課】 ○消防・防災力の充実強化として、消防団が管轄する地域の自主防災会防災訓練に参加し訓練指導を実施。また、消防車両で火災予防に対する巡回警備、広報活動を実施。【消防総務課】 ○消防署金剛分署の大規模改修を実施。【消防総務課】 ○地域の防災訓練に参加し、消火器訓練や煙道体験を実施。(H31.2.23寺池台小学校区防災訓練に参加)【消防総務課】 ○地域自主防災組織の育成。防災組織結成時に最大20万の補助金を支給。次年度から5～10万の運営補助金を支給。(金剛地区では久野喜台二丁目で自主防災会が結成)【警備救急課】 ○水道管路の耐震化工事。(金剛地区では3件実施)【水道工務課】 ○本市水道事業の説明や災害対策等に関する出前講座の実施。(H31.2.9、金剛中学校にて、防災スクラム、金剛中すこネットに実施)【水道工務課】 ○富田林市避難行動要支援者支援対策事業の実施。避難行動要支援者名簿を整備し、災害時等に備える。(市全体：要支援者数6399人、地域支援組織数48人)【地域福祉課】
			各団体等の連携による、校区や地域全体での防災訓練や災害時のルールづくり、災害時要配慮者の把握・支援体制の構築、防犯パトロール等

■金剛地区再生指針に係る取組について(平成30年度)

◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策

1-2 便利で魅力ある生活サービスを充実する				H30年度実績（ ◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策 ）
取組	方向性	事例		
① 住民が魅力を感じる生活サービス機能を、多様な方法で充実させる	日常の買ひ物や生活を支えるサービスだけでなく、豊かな時を過ごしたり、交流したり、時代のニーズに応じた魅力が感じられる機能を高めます。	商業・サービス施設等における、住民ニーズに応じた商品やサービスの提供 コミュニティカフェや新市等、暮らしをより便利で豊かにするためのコミュニティビジネスの取り組み	◎軽トラマルシェの定期開催。（毎月第4土曜日、午後）【金剛地区まちづくり会議】 ◎金剛連絡所内に返却箱を設置。自動車文庫巡回の実施。（実施場所：藤沢台7丁目、久野喜台2丁目、金剛グリーンハイツ、利用人数のべ615人）【金剛図書館】 ◎視覚障がい者へのサービスとして、録音図書等の貸出。(カセットテープ等貸出：のべ337人) 。【金剛図書館】 ◎絵本を通しての親子のふれあいを目的に、保健センターでの4か月健診時に絵本を配布。（638冊）【金剛図書館】 ◎市内全公立小中学校図書館への貸出のほか、本を読む動機となるよう独自の「読書通帳」を全生徒へ配布。また、テーマ別で選んだ「本のおたのしみ袋」の貸出を実施。（児童向け50袋貸出）【金剛図書館】	
② 高齢者等の買ひ物や日常生活での移動を支える	バス停から距離のあるエリアや、坂道のあるエリア等では、特に子育て世帯や高齢者の買ひ物等、日常生活での移動における課題への対応を進めます。	配食や移動支援等、日常生活の支援サービスの多様化の推進 商業施設等と連携した商品配達サービスや送迎車運行等、買ひ物等の移動を支援する交通手段とそのサービスの充実 IoT、パーソナルモビリティ等、新技術の実用化、実験への積極的取り組み。	◎軽トラマルシェの定期開催。（毎月第4土曜日、午後）【金剛地区まちづくり会議】 ■生協の移動販売車（コープのお買物便）の運行。（毎週木曜日、4箇所停泊）【UR金剛団地自治会、UR都市機構】 ◎65歳以上の一人暮らしの人等への配食サービス事業の実施。（金剛地区の利用登録者は、高辺台（83人）、久野喜台（46人）、寺池台（115人）、配食ボランティアは高辺台（7人）、久野喜台（7人）、寺池台（8人））【高齢介護課】 ◎要介護4以上で移動困難な在宅高齢者を病院等へ送迎する外出支援サービスを実施。（金剛地区では寺池台（2人）が利用）【高齢介護課】 ◎レインボータクスの運行。市内公共施設の利用促進と移動手段確保のため、地域コミュニティバスを運行。（毎日8便運行、富田林駅前－金剛連絡所間、利用者数61059人）【道路交通課】 ◎公共交通の利用促進として、市内路線バス情報を掲載した「らくらくマップ」の配布やウェブサイトにて情報提供を実施。【道路交通課】	
1-3 「居場所」となる活動をつくる				H30年度実績（ ◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策 ）
取組	方向性	事例		
① 高齢者等の生きがいがつくり、健康の維持を支える	高齢になっても、自分らしくいきいきと暮らされたいように、生きがいを持つことができ、心身ともに健康を維持するための場所やプログラムの充実を図ります。	ふれあい喫茶や趣味活動のサークル等、既存の取り組みの継続・充実、ニーズに応じた多様な取り組みの展開 誰もが受け取れる情報提供・PRの工夫 福祉事業者、及び地域団体等の連携による、健康相談や介護予防のための運動プログラムづくり 高低差のある地形や自然に触れられる公園等をいかした、散策ルートや健康増進プログラムづくり	◎ニュースレター「にぎわい金剛」の発行。（3号；H30.10.4号；H31.3）【金剛地区まちづくり会議】 ◎SNS（Facebook）による金剛地区活性化の取り組み等の情報発信。（金剛地区まちづくり会議） ◎地区内のウォーキングマップの作成。【金剛地区まちづくり会議】※マップの活用は今後検討。 ◎そば打ち体験会の開催。（毎月第3月曜日）【金剛地区まちづくり会議】 ※「打ちたてのそばを食す会」として、Cafe&Lunchロベにてリユニアル開催。（H31.02.25、参加者約25人） ■金剛地区の周辺農地を借り、農業を楽しむ楽農クラブが活動。【寺池台住民有志】 ■小学校の多目的室等を使用して、福祉委員会によるサロン開催。（概ね毎月1回）【高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台小学校区福祉委員会】 ■UR金剛団地において生活支援アドバイザーによるイベントの開催等。（H26以降2～3回/年開催、H30年度は11月と2月。2月は富田林病院と連携したイベント開催（参加者23名））【UR都市機構】 ◎生活支援コーディネーターの配置。（金剛地区は第3区域として1人）【高齢介護課】 ◎生活支援等サービス体制協議体の開催。各圏域の生活支援コーディネーターが参加。【高齢介護課】 ◎地域介護予防普及教室の開催。（金剛地区では久野喜台（1か所20回197人）、寺池台（2か所68回908人）で開催）【高齢介護課】 ◎地域型介護予防教室の開催。（金剛地区では高辺台（2か所62人）、寺池台（2か所31人）で開催）【高齢介護課】 ◎けあばる金剛において、ものわすれ検診機を設置。【高齢介護課】 ◎老人クラブへ活動補助金を交付。（金剛地区では8団体へ交付）【高齢介護課】 ◎老人憩いの家の管理運営。（金剛地区では2箇所で開催）【高齢介護課】 ◎健康とんだばやし21の推進。（H30.6.12食育イベント、H30.9.25健康月間イベントをエコール・ロゼ（金剛東）にて開催）【健康づくり推進課】	
② 子育て中の親の交流や社会参加を支える	社会から孤立しがちな子育て世帯が、いきいきとした暮らしができることを目指し、さまざまな交流の機会をつくるとともに、子育て中の親たちが自分のための活動(趣味や仕事等)に向き合うことができるように、地域で支援を行います。	子どもと子育て中の親が集うことのできるサークル、親子教室等のほか、子育て中の親たちが使えるスキルアップや就業機会の場づくり 町会(自治会)等との連携による、地域コミュニティと融和する多世代交流等の取り組みの展開	■所有するUR分譲団地の一室を共有し、サークル、講座、サロン等、様々な活動ができる「ふらっとシェアールーム」を運営。【NPOふらっとスペース金剛】 ■地域による子育て支援として福祉委員会子育てサロンを開催。（毎月1回）【寺池台・伏山台小学校区福祉委員会】 ■UR金剛団地において生活支援アドバイザーによるイベントの開催等。（H26以降2～3回/年開催、H30年度は11月と2月。2月は富田林病院と連携したイベント開催（参加者23名））【UR都市機構】 ◎男女共同参画リーダー養成講座として、「親と子のコミュニケーションスキル」を開催。（H31.1.29～2.26、全5回、TOPICにて開催。参加者7人、うち金剛地区0人）【人権政策課】 ◎男女共同参画関連講座（男性の育児応援講座）を開催。（H31.3.16、全1回、市消防本部にて開催。参加者：親子5組、うち金剛地区1組）【人権政策課】 ◎地域子育て支援センター事業の実施。園庭開放や子育て相談指導等を通じて育児支援を行う。（市内2か所、利用児童数2910人、うち金剛地区に設置なし）【こども未来室】 ◎つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。（市内7か所、利用児童数15453人、うち金剛地区1か所（はっとひろば ふらっと）、利用児童数4806人）【こども未来室】 ◎ファミリー・サポート・センター事業の実施。子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が、お互いに助け合う子育てネットワーク。（会員数279人、活動件数635件、うち金剛地区会員数57人）【こども未来室】 ◎子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。（児童訪問世帯数17995件（市全体）、妊婦訪問世帯数2758件（市全体）、園庭開放参加児童数3376人（市全体）、金剛保育園園庭開放参加児童数887人）【こども未来室】 ◎フレックスマリバ(教室)の開催。（全12回開催し、妊婦96人（延べ152人）とその家族延べ67人が参加。うち金剛地区では妊婦13人（延べ30人）が参加）【健康づくり推進課】 ◎子育て相談会の開催。（全12回開催し、123組の母子（延べ218組）が利用。うち金剛地区では母子22組（延べ38組）が利用）【健康づくり推進課】 ◎2つの育児教室を開催。（4か月～8か月（びよびよ教室）は、全6回開催、母子120組が参加、うち金剛地区では母子25組が参加。1歳～1歳4か月（すくすく教室）は、全12回開催、母子95組（延べ175組）が参加、うち金剛地区では母子20組（延べ37組）が参加）【健康づくり推進課】 ◎放課後こども教室を実施。（市内16小学校で286回実施。参加者は子ども10302人、ボランティア1859人）（金剛地区では、高辺台小学校11回子ども366人ボランティア65人、久野喜台小学校17回子ども764人ボランティア132人、寺池台小学校18回子ども1188人ボランティア123人、伏山台小学校14回子ども412人ボランティア88人）	
③ 子どもの創造的で豊かな学びや遊びの場をつくる	金剛地区、及びその周辺地域の歴史や文化、自然環境をいかなる学校教育に限らず、日常の暮らしの中に創造的で豊かな学びや遊びの場を充実させ、特色のある子育て・教育環境をつくります。	公園や自然等の地域資源、地域団体・事業者等の地域力をいかした、職業体験や冒険遊び場等、子どもの創造的な学び・遊びの場づくり 大学、企業、文化・スポーツ活動の団体等、地区内外のさまざまな団体との連携による、多様な学び・遊びのプログラムづくり	■子どもの居場所づくり事業として、ふらっと寺子屋を運営。【NPOふらっとスペース金剛】 ■金剛中央グラウンドにて、FC大阪サッカー教室の開催。（H30.8.4参加者18人、H30.12.2参加者11人）【FC大阪】 ◎きめ細かな指導の推進をめざし、小学6年生、中学3年生で少人数学級(35人以下学級)を実現。（金剛地区内の小・中学校においても実施）【教育指導室】 ◎地域子育て支援センター事業の実施。園庭開放や子育て相談指導等を通じて育児支援を行う。（市内2か所、利用児童数2910人、うち金剛地区に設置なし）【こども未来室】 ◎つどいの広場事業の実施。子育て中の親子に対して気軽に集い相談交流ができる親子の場の提供などを実施。（市内7か所、利用児童数15453人、うち金剛地区1か所（はっとひろば ふらっと）、利用児童数4806人）【こども未来室】 ◎ファミリー・サポート・センター事業の実施。子育ての援助をしてほしい人と援助したい人が、お互いに助け合う子育てネットワーク。（会員数279人、活動件数635件、うち金剛地区会員数57人）【こども未来室】 ◎子育て支援ネットワーク事業の実施。市立保育園のブロック拠点4園を中心に家庭訪問や園庭開放などの事業を展開。（児童訪問世帯数17995件（市全体）、妊婦訪問世帯数2758件（市全体）、園庭開放参加児童数3376人（市全体）、金剛保育園園庭開放参加児童数887人）【こども未来室】	
④ 仕事やコミュニティビジネス、ボランティア等のできる環境をつくる	金剛地区は住宅に特化したまちとして成熟してきましたが、働き方や家族構成の多様化とともに、進出した高齢者層が増え、住宅と自然な生活サービスだけでは「居場所」が不足しています。一人ひとりが強く（＝自分らしくいきいきと暮らす）ことができるよう、働く場、社会貢献活動をする場、夢の実現に向けた起業等にチャレンジできる場が身近にあるまちとします。	空き施設や空き家等を活用した、チャレンジショップやシェアオフィス等、仕事や活動ができる場づくり 身近な働く場となる、多様な生活サービス機能の充実等 ボランティアやコミュニティビジネスに参加したい、あるいは起業したい住民が活躍の場を見つけやすくするための、情報発信の充実や人材育成 起業やNPO設立等に関する専門的なサポートの仕組みの充実	■UR金剛団地内に家庭的保育事業所「Kotona」を開設。【NPOふらっとスペース金剛、UR都市機構】 ■所有するUR分譲団地の一室を共有し、サークル、講座、サロン等、様々な活動ができる「ふらっとシェアールーム」を運営。【NPOふらっとスペース金剛】 ◎市民公益活動支援センター（小金台二丁目）の運営委託。市内で活動する市民公益活動団体に対し、備品貸出、活動場所の支援、相談業務等を実施。（金剛地区では、金剛ショッピングモール内の会議室が交流拠点となっている。施設利用件数42件）【市民協働課】 ◎放課後こども教室を実施。（市内16小学校で286回実施。参加者は子ども10302人、ボランティア1859人）（金剛地区では、高辺台小学校11回子ども366人ボランティア65人、久野喜台小学校17回子ども764人ボランティア132人、寺池台小学校18回子ども1188人ボランティア123人、伏山台小学校14回子ども412人ボランティア88人）【生涯学習課】	

■金剛地区再生指針に係る取組について(平成30年度)

◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策

1-4 多様な「交流」の仕掛けをつくる				H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)
① 地域社会ならではの世代間交流の場をつくる	若年世代と社会経験豊富な中高年層、子どもと高齢者等、異なる世代が交流し、新たな火花が生まれる機会をつくります。	生活サービス施設や福祉施設等の多機能複合化による、誰もが使えるフリースペース等、世代間交流の場づくり	大学生によるまちづくり活動への参加や高齢者による昔遊び教室等、多世代が交流するプログラムづくり	■UR金剛団地内に家庭的保育事業所「Kotona」を開設。【NPOふらっとスペース金剛、UR都市機構】 ■地域住民等による居場所・施設のコーディネート。(Café&Lunch口ベ、バラソルカフェ、高辺台ブラザにてカフェ、軽トラマルシェにてカフェ等)【地域住民等】 ■Kotonaにて園庭開放をする「ENGAWA」を運営。(毎週土曜9:30~11:00)【NPOふらっとスペース金剛】 ○まちづくりサポーター育成講座(第1回 若者を地域活動に巻き込むためには)を開催。(H30.9.8、金剛連絡所、参加者19人)【まちづくり推進課】 ○子育て環境の充実、魅力ある学校教育の推進に向けて、地域に住む豊かな人材の経験、知識、技術などを子どもたちに伝える環境づくりを進める。(金剛地区内の小・中学校においても実施)【教育指導室】 ○元氣なまちづくりモデル事業として、地域活性化等を目的に地域住民が主体となった活動に対して補助金を交付した。(市全体4団体、うち金剛地区1団体(団体名:楽農クラブ共同農園事業協議会))【市民協働課】 ○放課後こども教室を実施。(市内16小学校で286回実施、参加者は子ども10302人、ボランティア1859人)(金剛地区では、高辺台小学校11回子ども366人ボランティア65人、久野喜台小学校17回子ども764人ボランティア132人、寺地台小学校18回子ども1188人ボランティア123人、伏山台小学校14回子ども412人ボランティア88人)【生涯学習課】
② 周辺地域との交流や歴史文化に触れる活動に取り組む	地区の周辺には、寺内町の歴史的なまちなみや自然・農業エリア等、個性的な魅力のある地域があります。このような地域との交流により、地区に新たな魅力・文化を育てます。	周辺地域での農業体験、農家による朝市の開催、寺内町や高野街道等の歴史文化に触れる講座、周辺住民との交流イベント等		○軽トラマルシェの定期開催。(毎月第4土曜日、午後)【金剛地区まちづくり会議】 ■金剛地区の周辺農地を借り、農業を楽しむ楽農クラブが活動。【寺地台住民有志】 ○元氣なまちづくりモデル事業として、地域活性化等を目的に地域住民が主体となった活動に対して補助金を交付した。(市全体4団体、うち金剛地区1団体(団体名:楽農クラブ共同農園事業協議会))【市民協働課】 ○富田林ドリームフェスティバルの開催に伴い、無料送迎バスを運行。(金剛駅からの乗客数は2日で計175人)【生涯学習課】
③ 地区内外の多彩な交流により、文化・創造活動、生涯学習等を充実させる	住民が身近で文化・創造活動や生涯学習、健康増進等に取り組めるまちとなるため、地区内外の多彩な人材・団体、事業者との交流によるプログラムの充実を図ります。	自らの特技をいかした講座やサークル等を気軽に開ける仕組みと場所づくり、指導者の育成	大学、事業者、各種団体等との連携による、高度な学びに触れる機会やプログラムづくり	■地域住民等による居場所・施設のコーディネート。(Café&Lunch口ベ、バラソルカフェ、高辺台ブラザにてカフェ、軽トラマルシェにてカフェ等)【地域住民等】 ■居場所づくりの一環として、D V D鑑賞会&カフェの開催。(月1回)【まちづくり会議参加者有志】 ○生涯学習活動として様々な講座等を開催。(金剛公民館では、公民館講座実施、公民館クラブの運営、公民館カフェの開催など)【中央公民館】 ○富田林市・河内長野市・大阪狭山市の図書館連携講座(受講者20名)など、講座や講演会の開催。【金剛図書館】
2 多様な「住まい」の供給・流通の促進				
2-1 改修や建て替え等に取り組む				H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)
① 賃貸住宅の改修等に取り組む	地区内の住宅の半数以上を占めるUR賃貸住宅においては、長い期間をかけて形成された団地のコミュニティによる住み良さを継承、発展させるともに、改修等により魅力的な住宅の供給を進めます。 なお、将来的に団地再編を検討する場合には、金剛地区の再生・活性化に資するよう新しい施設や住宅の導入、公共空間の魅力化等を検討することが期待されます。	UR都市機構が取り組む金剛団地の「地域医療福祉拠点化」を推進	若年世帯向けの改修住戸やDIY可能住戸の供給等検討	■UR都市機構と富田林市の連携による「医療福祉拠点化」の推進。【UR都市機構、富田林市】 ※「金剛団地における地域医療福祉拠点化に係る確認書」取り交わし(H30.12.11)。 ■UR金剛団地において「健康寿命サポート住宅」を供給。(H31.2末時点:全39戸)【UR都市機構】 ■UR金剛団地において若者層向け企画住宅を供給。【MUJi×UR】(H31.2末時点:全20戸)【暮辞】(全275戸)【Petit DIY】(全5戸)【UR都市機構】 ■UR金剛団地中央集会所にエレベーターを設置。(H30.10.2供用開始)【UR都市機構】
② 戸建住宅の改修や建て替え等に取り組む	戸建住宅居住者が高齢等になっても安心して住むことのできるバリアフリー改修、家族構成やライフスタイルの変化に応じた増改築・建て替えのほか、空き家を有効活用する改修や建て替えに情報提供等の支援を行います。	高齢期に向けたバリアフリー改修等、長く住み続けるための自宅の改修や建て替え	改修・建て替えや空き家の有効活用・流通を含めたセミナーの開催やガイドブックの発行等	○耐震化促進補助金の交付。(金剛地区では診断3件、改修0件)【住宅政策課】 ○市民向けの空き家セミナーを実施。(H30.10.28開催、申込数30人、うち金剛地区4名)【住宅政策課】 ○空き家バンクの立ち上げ。(H30年7月立ち上げ、現在、登録事業者13者、登録物件0件)【住宅政策課】
③ 分譲マンションの改修や建て替えの検討に取り組む	バリアフリーや老朽化等の課題のある分譲マンションにおいては、戸建住宅等とは異なり、改修や建て替えの際には区分所有者の合意形成が課題となります。そのため、管理組合が改修や建て替えに向けて取り組みやすいよう、専門家による支援を行います。 特に、駅前やふれあい大通り沿いは金剛地区にとって重要なエリアであることから、改修や建て替えを行う場合には、行政と連携して公共空間の魅力化を検討することが期待されます。	管理組合による改修や建て替えに向けた勉強会の開催や検討等	改修や建て替えに関する勉強会、アドバイザー派遣、意向調査等、専門知識が必要な取り組みを支援	■「金剛第三住宅見つめる会」による活動。【金剛第三住宅】 ○金剛第三住宅見つめる会の活動支援。(まちづくり推進課)
2-2 空き家の流通促進等、住宅市場の活性化を支える				
取組				H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)
① 住み替えや転入希望者、親子近居・同居希望者への情報提供等に取り組む	若年世代等、多様な人々に移り住んでくてもらえるよう、金剛地区の魅力、住みやすい暮らしの情報提供を進めます。また、地区内での住み替え希望者への情報の充実を図ります。	地区内の住まい情報の一元化、暮らしマップの作成、お試し暮らしツアー、住み替え相談窓口の設置等	親子近居・同居希望者への支援	■UR金剛団地において若年層の入居促進策として「近居割ワイド(H28.1~)」、「U35割(H28.8~)」や「子育て割(H26.8~)」を実施。【UR都市機構】 ○近居同居促進給付金を交付。親子での近居・同居を目的として富田林市内に住宅を取得した人に対して、補助金(同居50万円、近居30万円)を支給(H27年度~)。(金剛地区では、H30年度近居14件、同居1件)【住宅政策課】 ○子育て世代に本市への認知度を高めてもらうため、コミュニティ情報雑誌(まみたん)へ記事や広告を掲載。【都市魅力創生課】 ○市公式WEBサイト[移住応援ポータルサイト、定住促進ポータルサイト、富田林きらめきミュージアム]を運営し、本市の魅力や情報を発信。(アクセス数は、それぞれ6,625、3,154、16,293)【都市魅力創生課】
② 地域が連携して空き家の流通等に取り組む	近年増加傾向にある戸建住宅や分譲マンションの空き家が、新たな居住者を呼び込むための受け皿となるよう、その流通を促進します。	空き家や中古市場の実態を調査し、活用促進策を検討	空き家所有者向けの、空き家の有効活用・流通に関するセミナーの開催やガイドブックの発行等	○市民向けの空き家セミナーを実施。(H30.10.28開催、申込数30人、うち金剛地区4名)【住宅政策課】 ○適正に管理されていない空き家の活用策を講じるため、空家等対策協議会を開催。(H30年7月,11月,H31年3月の3回)【住宅政策課】 ○空家実態調査として、市内857件(内金剛地区76件)の空家所有者等へのアンケート調査を実施。【住宅政策課】 ○空家バンクの立ち上げ。(H30年7月立ち上げ、現在、登録事業者13者、登録物件0件)【住宅政策課】

豊かで多機能な「空間・施設」の充実				
3-1 空き店舗等を活用し、多機能が複合した生活サービス拠点づくりを目指す				
取組	方向性	事例	H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)	
① 商業施設の更新等において多機能化を進める	既存の商業エリア等においては、商業施設の更新の機会をいかして、住民の日常生活ニーズだけではなく、豊かな時を過ごせる居場所、さまざまな活動や交流の場等の機能を持ち、人が集まり、つながる多機能複合型の生活サービス拠点づくりを目指します。	住民のニーズや商業・サービス機能の実情に応じた生活サービス拠点づくり等に向けた関係者のビジョンの共有 空き店舗の暫定利用による生活サービス拠点づくりに向けた試行的な取り組み(チャレンジショップ、コミュニケーションカフェ等)	○軽トラマルシェの定期開催。(毎月第4土曜日、午後)【金剛地区まちづくり会議】 ■UR金剛団地内に家庭的保育事業所「Kotona」を開設。【NPOふらっとスペース金剛、UR都市機構】 ■地域の空き店舗をコミュニティスペースとして活用。(Café&Lunch口ベ)【地域住民】 ■親子ふれあい祭りの開催。(H30.11.25金剛銀座商店街、来場者約1200人)【金剛銀座商店会】 ■きまぐれマルシェの開催。金剛銀座商店街にて商店の前で野菜を無人販売。【富田林市の農業を創造する会】	
② 既存の文化・運動施設の再整備や使い方を検討する	文化・創造活動、生涯学習、健康増進等、住民の多様な活動ニーズに対応するため、老朽化した施設の再生に取り組むほか、必要に応じて既存施設の使い方の見直しに取り組めます。	住民参加により地域のニーズを把握することによる、施設の運営や老朽施設再生の検討	○金剛中央公園(青少年スポーツホール)・寺池公園の活用に関するサウンディング型市場調査の実施。【まちづくり推進課】 ○公共施設再配置計画における個別施設計画策定に向けた調整。【行政管理課】	
3-2 生活サービス機能等の充実のため、空き家や空きスペースを有効活用する				
取組	方向性	事例	H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)	
① 生活サービスや交流・文化活動の場として、空き家等を有効活用する	増加傾向にある空き家については、新たな居住者を呼び込むための受け皿として活用するとともに、戸建住宅地における身近な生活サービスや交流・文化活動の場の充実のため、有効活用を進めます。	空き家を貸したい家主と使いたい住民・地域団体等のニーズのマッチング 空き家所有者向けのセミナー等での事例紹介や基礎知識等の情報提供	○市民向けの空き家セミナーを実施。(H30.10.28申込数30人、うち金剛地区4名)【住宅政策課】 ○空家バンクの立ち上げ。(H30年7月立ち上げ、現在、登録事業者13者、登録物件0件)【住宅政策課】	
② 地域活動等の場として、学校施設や地区内の空きスペースを有効活用する	これまでも、町会(自治会)等の集会所や学童クラブ等に活用されてきた学校の施設を引き続き貴重な地域活動の場として充実させるとともに、地区内の空きスペースについては、地域活動や生活サービスの場としての活用を進めます。	運動場等の地域開放の充実、住民への情報提供の充実 空き地での移動販売などの実施	■生協の移動販売車(コープのお買物便)の運行。(毎週木曜日、4箇所停留)【UR金剛団地自治会、UR都市機構】 ○余裕教室活用指針に基づき、寺池台小学校の教室の一部を学童クラブへ転用。【教育総務課】 ○学校体育施設の活用促進。学校教育に支障のない範囲で、学校施設を地域に開放。(金剛地区では、高辺台・久野喜台・寺池台・伏山台小学校で体育館・グラウンドを開放。葛城・金剛中学校で体育館を開放)【生涯学習課】 ○放課後こども教室を実施。(市内16小学校で286回実施、参加者は子ども10302人、ボランティア1859人)(金剛地区では、高辺台小学校11回子ども366人ボランティア65人、久野喜台小学校17回子ども764人ボランティア132人、寺池台小学校18回子ども1188人ボランティア123人、伏山台小学校14回子ども412人ボランティア88人)【生涯学習課】	
3-3 “眺える”“楽しめる”“使いこなせる”広場や通りに再生する				
取組	方向性	事例	H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)	
① 「ふれあい大通り」を多彩な活動の場となる“まちの顔”として育む	金剛駅前から金剛中央公園間の「ふれあい大通り」は、“まちの顔”としての美しさ、風格を保つとともに、通り沿いは、豊かな時が過ぎて交流が生まれる広場や施設がつながるとし、人々の「煌き」と「閑静な趣」を持った、金剛地区を象徴する空間に育てます。 沿道の施設や住宅において再整備を行う場合には、通りの美しさ、風格、にぎわいや出会いの創出を実現します。	まちの顔にふさわしいにぎわい、出会いを創出するため、沿道の公園、各種施設等でのイベントの開催等 通りの美化や緑化への取り組み	○軽トラマルシェの定期開催。(毎月第4土曜日、午後)【金剛地区まちづくり会議】 ○金剛銀座商店街にてペットボトルツリーを作成。(H30.11.19、参加者5人)【金剛地区まちづくり会議】 ○金剛/バール★WinterLand・親子ふれあい祭りの協力。(清掃活動、出店)【金剛地区まちづくり会議】 ■金剛/バール★WinterLandの開催。H30.11.25金剛中央公園、来場者約3800人)【金剛にぎわい創出実行委員会】 ○老朽化舗装の改修工事を実施。(金剛地区では、5路線で実施)【道路交通課】 ○街路樹の剪定、薬剤散布、落葉の清掃などを実施。(金剛地区では、10路線で実施)【道路交通課】 ○金剛きらめきイルミネーションの実施。(H30.11.25～H31.1.20、金剛ショッピングモール前付近～金剛中央線の起点)【商工観光課】	
② 寺池公園を水辺と緑の楽しめる公園に住民参加で再生する	地域の象徴的な存在のひとつである寺池をいかに、身近なレクリエーションの場として、水辺と緑を楽しめる公園に再生します。再生にあたっては、地域に永く愛されるため住民参加での再生や維持管理を進めます。	住民参加による再生チームの組成、活動拠点の確保 住民参加による緑地再生への取り組み、維持管理や参加型プログラムの運営	○寺池公園フィールドワーク実施。(H30.4.8、参加者19人)【金剛地区まちづくり会議】 ○まちづくりサポーター育成講座(第3回 自然遊びを通じて寺池公園の活用方法を考えよう)を開催。(H30.12.8、寺池公園、参加者11人)【まちづくり推進課】	
③ 金剛中央公園をイベントや住民参加プログラムが行われる交流拠点として育む	金剛中央公園は、「金剛/バール★WinterLand」等をはじめ、屋外イベントや住民参加プログラムが行われる地域の屋外型交流拠点とします。耐震性に課題のある青少年スポーツホールのあり方の検討とあわせて、多世代が交流する拠点としての機能強化を図ります。	「金剛/バール★WinterLand」等をはじめとした屋外イベントや住民参加型プログラムの企画・運営 青少年スポーツホールを含めた、交流拠点としてのあり方検討 住民主体のマネジメント組織等、管理運営のあり方検討(将来的に、地域の交流拠点としての定着状況を踏まえて取り組み)	○公園活用にかかる意見交換等を実施。(4回部会開催)【金剛地区まちづくり会議(公園活用部会)】 ■金剛/バール★WinterLandの開催。(H30.11.25金剛中央公園、来場者約3800人)【金剛にぎわい創出実行委員会】 ○公共施設再配置計画における個別施設計画策定に向けた調整。【行政管理課】 ○公園内でのイベント等開催に対して公園使用を許可。(金剛地区では計6カ所、14件許可)【みどり環境課】	
④ 地区内の通りや公園を、愛着の持てる場として再生に取り組む	ふれあい大通り以外の通りや、金剛中央公園と寺池公園以外の公園においても、にぎわいづくり、快適性の向上や愛着の醸成に向けて取り組みます。	歩道空間や広場、公園、施設を活用したイベントの開催等 愛着の醸成につながる、通りの愛称の公募 街路樹等の保全・植替え、沿道のり面の美化・緑化、ユニバーサルデザイン化への取り組み 住民主体による身近な公園の管理・運営	○軽トラマルシェの定期開催。(毎月第4土曜日、午後)【金剛地区まちづくり会議】 ■地区内のウォーキングマップの作成。【金剛地区まちづくり会議参加者】※マップの活用は今後検討。 ■金剛/バール★WinterLandの開催。(H30.11.25金剛中央公園、来場者約3800人)【金剛にぎわい創出実行委員会】 ■地区内(伏小校区)の公園等でパサルカフェの開催。【伏山校区福祉委員会】 ■公園愛護会による、公園の清掃をはじめとする諸活動。(金剛地区内には9団体あり)【各公園愛護会】 ○老朽化した舗装の改修工事を実施。(金剛地区では、5路線で実施)【道路交通課】 ○街路樹の剪定、薬剤散布、落葉の清掃などを実施。(金剛地区では、5路線で実施)【道路交通課】 ○公園・緑地の維持管理として、樹木の剪定、除草、公園緑地内の清掃、遊具・施設の点検を実施。(除草：公園年4回、緑地年3回、金剛地区では寺池台1・2号遊園以外の公園緑地で実施)(遊具点検：日常点検と年1回の専門業者点検、金剛地区では久野喜台1号公園、高辺台2号公園、寺池台1号公園、高辺台1・2号緑地以外の公園で実施)【みどり環境課】 ○公園愛護会への報償金(年1万円)補助、掃除用具の支給。(金剛地区では9団体に補助)【みどり環境課】 ○公園内でのイベント等開催に対して公園使用を許可。(金剛地区では計6カ所、14件許可)【みどり環境課】	

4 まちを運営する「仕組み」の構築				
4-1 住民等が主体となってまちを運営する「仕組み」をつくる				
取組	方向性	例示	H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)	
① 再生・活性化の取り組みの主体となる組織をつくる	この指針で示した取り組みを企画・実行あるいは調整するとともに、地域団体等の枠を越えた情報・意見交換の場となる組織を設立します。	「(仮称)金剛地区まちづくり会議」の設立 再生・活性化を先導する取り組み(リーディングプロジェクト)の企画・実行 再生・活性化の取り組みにおいてリーダーとなる担い手を育てるための育成プログラムや専門的支援等	◎金剛地区まちづくり会議の活動継続。(会議5回開催)【金剛地区まちづくり会議】 ◎金剛地区まちづくり会議(部会)においてプロジェクトの企画運営を行う。(居場所づくり(2回)、イベント企画(1回)、公園活用(4回)、防災活動(4回)、その他)【金剛地区まちづくり会議】 ○住民活動災害保障保険。住民団体による住民活動中に事故が発生した場合の保険。無報酬で行うボランティア活動や、地域での社会奉仕活動が対象となる。(加入団体数100団体)【市民協働課】	
② まちづくりの中心拠点となる場所を確保する	「(仮称)金剛地区まちづくり会議」の活動をはじめとする地区内の活動を支えるネットワーク拠点となり、また、まちづくりに関するさまざまな情報の発信拠点、さまざまな活動ができるスペースを、まちづくりの中心拠点として確保します。	既存施設の再生にあわせた場所の確保等	■居場所提供。(そば打ち体験会(毎月第3月曜日)等)【地域住民等】 ■家庭的保育事業「Kotona」のスペースを活用した「もちより晩ご飯会」を開始。(毎月第4土曜日)【まちづくり会議参加者有志】 ○地区集会所整備補助制度。(金剛地区では3件(寺池台三丁目会(改修)、金剛団地(施設備品購入)、金剛アーバンコンフォート(AEDの購入))の集会所整備に対して補助金を交付)【市民協働課】 ○市民公益活動支援センター(小金台二丁目)の運営委託。市内で活動する市民公益活動団体に対し、備品貸出、活動場所の支援、相談業務等を実施。(金剛地区では、金剛ショッピングモール内の会議室が交流拠点となっている。施設利用件数42件)【市民協働課】	
③ 地区活性化のきっかけとなる祭りやイベントに取り組む	住民や地域団体、事業者が主催者やホストとして参加する祭りやイベントを行い、地区の再生・活性化の取り組みへの参加のきっかけとします。	「金剛バル★WinterLand」等のイベントの実施。住民等のホストとしての参加促進 公園再生等、住民参加型の取り組み推進	◎軽トラマルシェの定期開催。(毎月第4土曜日、午後)【金剛地区まちづくり会議】 ◎寺池公園フィールドワーク実施。(H30.4.8、参加者19人)【金剛地区まちづくり会議】 ◎金剛銀座商店街にてペットボトルツリーを作成。(H30.11.19、参加者5人)【金剛地区まちづくり会議】 ◎金剛/リル★WinterLand・親子ふれあい祭りへの協力。(清掃活動、出店)【金剛地区まちづくり会議】 ■金剛/リル★WinterLandの開催。(H30.11.25金剛中央公園、来場者約3800人)【金剛にぎわい創出実行委員会】 ■親子ふれあい祭りの開催。(H30.11.25金剛銀座商店街、来場者約1200人)【金剛銀座商店会】 ○まちづくりサポーター育成講座(第3回 自然遊びを通じて寺池公園の活用方法を考えよう)を開催。(H30.12.8、寺池公園、参加者11人)【まちづくり推進課】 ○金剛きらめきイルミネーションの実施。(H30.11.25~H31.1.20、金剛ショッピングモール前付近~金剛中央線の起点)【商工観光課】	
④ 地域活動や地区の魅力等の情報の共有化と地区外への発信に取り組む	地域で取り組まれているさまざまな活動やサービス、地区の魅力等の情報を、的確に住民に情報提供する取り組みを進め、地区内で共有します。また、地区外に向けた魅力の発信、PRを進めます。	地域主体のきめ細やかな情報の収集と共有 地区外への魅力を発信する広報活動、PR活動	◎ニュースレター「にぎわい金剛」の発行。(3号;H30.10、4号;H31.3)【金剛地区まちづくり会議】 ◎SNS(Facebook)による金剛地区活性化の取り組み等の情報発信。【金剛地区まちづくり会議】 ◎ひろとん(H31.2.17、エコール・ロゼ)への参加。【金剛地区まちづくり会議】 ○まちづくりサポーター育成講座(第4回 まちの広報マン養成講座)を開催。(H31.1.26、金剛連絡所、参加者7人)【まちづくり推進課】 ○市ウェブサイトにて、新規コンテンツ(360度パノラマビュー)を導入。(金剛きらめきイルミネーション開催の様子を360度カメラで撮影し、画像を発信)【情報公開課】 ○市公式LINE@を活用し、金剛きらめきイルミネーション、金剛/リル、軽トラマルシェなどのイベントの開催告知を発信。【情報公開課】 ○市公式WEBSITE[移住応援ポータルサイト、定住促進ポータルサイト、富田林きらめきミュージアム]を運営し、本市の魅力や情報を発信。(アクセス数は、それぞれ6,625、3,154、16,293)【都市魅力創生課】 ◎エコール・ロゼ(金剛東)にて、本市の情報発信をする「とんかつランド」を運営。【都市魅力創生課】 ○子育て応援サイト「TonTon」の運用。【こども未来室】	
4-2 時代の変化にあわせて、まちづくりのルールを考える			H30年度実績 (◎金剛地区まちづくり会議の取組 ■その他(団体・事業者等)の取組 ○市の施策)	
取組	方向性	例示		
① 景観の保全・魅力化や多機能なまちへの転換に対応できる法・制度を地域で検討する	成熟した景観を守り育てるために、今後、景観の保全や住宅・施設の改修・建て替え等に関するルールづくり等が必要となった場合には、住民主体で検討を進めます。 また、土地利用等に関しても、生活サービス機能の状況等を踏まえ、必要に応じて法・制度等の見直しに向けた検討を行います。	ルールづくりの検討体制の構築や、専門家派遣等の支援等による地域主体の検討	○大阪府建築協定地区連絡協議会による会報誌である「まちなみ通信」を配付。【まちづくり推進課】 ○建築協定勉強会の開催。金剛地区では、寺池台二丁目9及び23街区建築協定が対象。(H30.5.27、市役所にて開催。参加10団体、うち金剛地区0団体)【まちづくり推進課】 ○都市計画マスタープランの策定。金剛地域の課題、地域づくりの目標・方針等を示す。【まちづくり推進課】	